

東海大学

関東リーグ戦では、最終日まで青山学院大学と優勝争いを繰り広げ、惜しくも1勝差で準優勝となった東海大学。激しいDFからリズムを作り出す東海大学の絶対的司令塔、西村 文男。関東リーグ戦では、敢闘賞を受賞し、シュート・ドリブル・パスすべてにおいて、卓越した技術を持ち、高いキャプテンシーを発揮してチームを引っ張る。春のトーナメントでは、怪我の影響もありチームに貢献できなかったが、トーナメント・リーグ戦の雪辱を果たすべく、インカレでは、大暴れしてくれること間違いない。大学最後の舞台で見せる彼のプレイを見逃すな!!

西村との最上級生ガードコンビを組み、チームを引っ張る 安部 潤。関東リーグ戦では優秀選手賞を受賞し、抜群のスピードと高確率の3ポイントシュートを併せ持ち、チームを何度も勝利へ導いた。リーグ戦を振り返り、1試合ごとにチームが成長できて良かったが、個人としてはあまり貢献できなかったのでインカレでは自分の持ち味を発揮して優勝したい!!と力強く語った。西村の巧さと安部のスピードが噛み合えば、東海大学の優勝はまた一歩近づくであろう。

東海大学の最後の砦を担い、リバウンドとブロックを量産する 中濱 達也。観客のみなさんには、学生らしくルーズボールを最後まで追いかけるところや、DFを見て欲しいと語る。なかでもDFは他の大学には絶対に負けないと豪語する。彼らの学生らしいフェアプレイをとくにご覧あれ!!

誰もが期待を寄せる東海大学のスーパーエース 古川 孝敏。きつい練習はあまり好きではないが、チームが勝つため、自分が成長するためにはどんな練習でもやります!!と語る彼は、エースとしてふさわしいモチベーションの高さがのぞかれる。彼は、相手が嫌がるところで見事にシュートを沈め、幾度となくチームを救った張本人である。インカレでも彼が会場を沸かすことは間違いないだろう。

春の新人戦では、見事にチームを2年連続の優勝へ導き、自身は新人王を受賞した 満原 優樹。絶妙な駆け引きと器用さを持ち、東海大学の次世代を担う新戦力。センタープレイヤーとして、インサイドプレイはもちろんのこと、幅広いシュートレンジを持ち、東海大学の攻撃の要となっている。インカレを挑戦する場と語るが、1年目のインカレでどのように暴れまわってくれるのかが実に楽しみだ!!

その他、頼れるインサイドプレイヤー 長野 勇氣。高いシュート率を持ち、東海大学の影の仕事人 鮫島 宗一郎。東海大学が誇るシューター 石井 講祐など、多くの選手がベンチに控え、選手層の厚さは関東一と言っても過言ではない。陸川監督のもと、チーム全員が一つになり、優勝目指し、戦う彼らの姿を全国各地の強豪校へ見せつけてくれるだろう。彼らは、有終の美をかざることができるのか…。目指すはただ一つ…優勝のみ!!!!!!



安部 潤
(4年)



中濱 達也
(4年)



古川 孝敏 (3年)



西村 文男
(4年)

